



交通安全だより

平成17年2月 第2号 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

交 通
安 全

セーフティさっほろ

日ごろより交通安全の推進及び活動にご協力をいただいている皆様に心より感謝申し上げます。

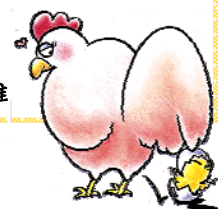
さて、昨年の札幌市の交通事故の状況は、発生件数 11,690 件（前年比-437）、死者数 54 人（同-2）、傷者数 14,116 人（同-531）と全ての面において一昨年より減少させることができました。これは地域や関係団体の皆様の積極的な活動の成果であり、あらためてお礼申し上げます。

しかしながら、市民の約 130 人に 1 人が事故に遭っているという状況です。交通事故は極めて身近な災害であり、自分や家族が被害者にも加害者にもなりうるということを、市民ひとりひとりに自覚していただくことが、重要であると考えております。

本年におきましても悲惨な交通事故が一件でも減少するよう、交通安全教室、広報活動はもとより、より多くの市民の皆様とともに街頭啓発活動に取り組んでまいりますので、一層のご尽力とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしましてごあいさついたします。

札幌市交通安全運動推進委員会会長 上田文雄



一 違法駐車防止強化月間（2月）一

路上駐車は、除雪作業や、救急車・消防車などの緊急車両の走行・活動の妨げになるばかりでなく、駐車車両の陰からの飛び出しによる事故、夜間の衝突事故の原因になっています。

また、道幅の狭くなる冬期間、都心部では渋滞を引き起こす大きな原因となっています。短時間でも駐車場を利用するよう心掛けましょう。

違法駐車

運転者がいない場合、違法駐車ステッカーが取り付けられます。この場合車両の使用者等は、直ちに違法状態を解消し、そのことを警察に申し出なければならない。ステッカーを勝手にはがすと **2万円以下の罰金**

また、交通の危険防止と円滑を図るため違法駐車ステッカーを取り付けた車を移動・保管することができる。



駐車禁止



放置行為

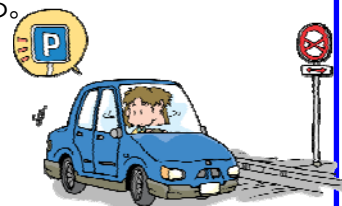
車両の運転者が**車両を離れて直ちに運転することができない状態**にする次のような駐車違反は「放置行為」とされる。

- ① 駐停車禁止場所違反
- ② 駐車禁止場所違反
- ③ 駐車余地違反
- ④ 駐車方法違反
- ⑤ 駐車方法特例違反
- ⑥ パーキング・メーター等駐車方法違反

罰 則： **15万円以下の罰金**、過失同じ

違反点： **3点**

反則金：大型 25，普通 18，二輪・原付 10
(千円)



車庫代わり駐車

道路上の場所を自動車運行の活動拠点（住所地・勤務先等）として使用することを目的として、道路上の場所を反復継続して使用してはならない。

罰則： **3ヶ月以下の懲役又は20万円以下の罰金**

長時間駐車

自動車は道路上の同一の場所に引き続き12時間以上又は夜間（日没から日の出までの間）8時間以上駐車してはならない。

罰則： **20万円以下の罰金**

万が一の事故に備えシートベルトを着用しましょう！

交通安全マメ知識②
 ー 道路における禁止行為ー
 (法第76条・細則第19条抜粋)

- ① 酒に酔って交通の妨害となるような程度に **ふらつくこと**。(法)
- ② 石・ガラスびん・金属片その他道路上の人や車両等を損傷する恐れのある **物件を投げ**、又は発射すること。(法)
- ③ みだりに交通の妨害となるように道路に **どろ土、雪、ゴミ、ガラス片**その他これらに類する物をまき、又は捨てること。(細則)
- ④ 凍結する恐れのあるときに、道路に **水をまく**こと。(細則)

罰則：**5万円以下の罰金**



道路交通法違反容疑で逮捕



車の助手席の窓を開け、後方に向かって火の点いたままのタバコ1本と空き箱3箱を投げ捨てた疑い。

火の点いたままのタバコは後続車のフロントガラスに命中しワイパーに落ちて、プラスチック製部品が溶けるなどの被害を出した。

後続車の運転手が被害を確認し警察へ被害届けを出した。

警察は、「前例が無い」としながらも受理し、ナンバーなどから容疑者を特定して道路交通法違反で書類送検した。

ー 女性ドライバーによる事故の実態 ー

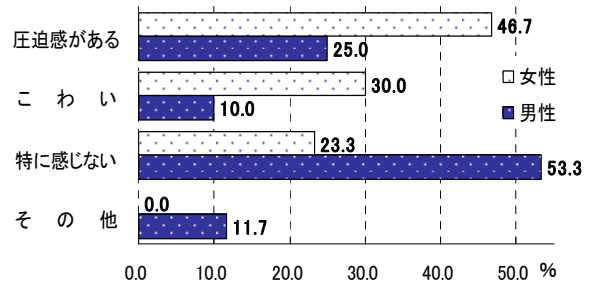
女性の高齢（65歳以上）ドライバーが増加しています。

北海道の運転免許保有者は、過去10年（平成6年から15年）で、男性1.9倍・女性は4倍と急速に増加していて、今後更に増加することが予想されます。

札幌市内の最高齢免許保持者：男性98歳，女性93歳（女性は全道で2番目に高齢。一番は函館在住の方でした）
 ※ただし、統計掲載上の年齢であり実際に運転しているかどうかは不明です。

女性は、対向車に影響を受けやすく、更に**大型車に対して** **圧迫感**や**怖さ**を感じやすいようです。そして対向車とすれ違う直前にブレーキ操作をすることが多く、凍結路面では特に事故を引き起こす要因となっています。

大型車に対して「圧迫感・こわさを感じる」割合



対向車が影響してスリップ事故を起こした状況

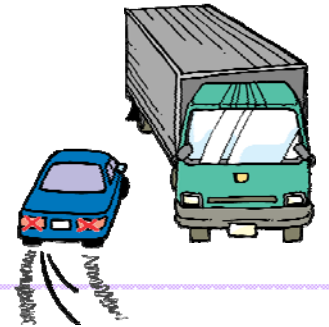
男性・対向車が気になってブレーキ操作で減速

- ・対向車が近づくにつれ怖くなりブレーキ操作で減速

女性・対向車が気になってブレーキ操作で減速

- ・対向車が怖いと思いブレーキ操作で減速
- ・対向車の圧迫感からブレーキ操作で減速
- ・対向車が怖くて距離をとろうと左へハンドル操作
- ・大型の対向車を認めた後、突然スリップ、何の操作をしたか記憶がない

スリップ後の動作として、男女に差はあまり見られませんが女性は、「記憶がない」などとっさの時にパニックに陥りやすい傾向があるようです。



平成16年 札幌市の交通事故発生状況

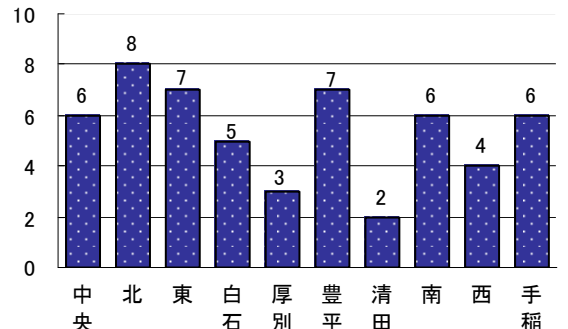
1月～12月

	札幌市	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
死者	54	6	8	7	5	3	7	2	6	4	6
前年比	-2	1	1	-6	3	-3	1	-2	1	0	2
発生数	11,690	2,113	1,599	1,817	1,248	689	1,312	570	676	1,054	612
前年比	-437	-94	-22	-90	-72	10	-5	-80	-83	-18	17
傷者	14,116	2,510	1,872	2,187	1,518	827	1,623	759	900	1,202	718
前年比	-531	-134	-17	-105	-78	-37	14	-72	-112	-16	26

※全道の死者数 387人 増減数 -4人

人

各区の死者数



デイ・ライト運動実施中 昼間のライト点灯にご協力を!